

「RADIOISOTOPES」誌 投稿規程

2022年11月15日一部改定

1. 目的

本誌は、公益社団法人日本アイソトープ協会（以下、本協会）が1952年の創刊以来刊行する学術誌であり、放射性同位体、安定同位体及び放射線にかかわる幅広い研究領域を対象とする論文や資料発表の場を提供し、もって当該領域の発展に貢献することを目的とする。

2. 論文の公開

本誌はオープンアクセスの電子ジャーナルである。当協会の会員専用webサイト及び国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する社会技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）にて随時公開される。オンラインで公開後、原則年3号の冊子版を希望者に販売する。

3. 編集方針

本誌は1952年の創刊以来、国内外の研究者に対してアイソトープ・放射線にかかわる論文発表ならびに学術資料公開の場を提供してきた。本誌への投稿論文は、「投稿における倫理規定（投稿規程6.参照）」に基づく審査後に、シングルブラインド方式の査読を受ける。このとき査読者は、著者の有益性・独立性・信頼性を正当に評価し、かつ、原稿の真価に基づいた客観的かつ論理的な批評を行う。編集委員会は、投稿論文の審査を公正かつ迅速に行い、著者の人権その他の権利を侵害せず、プライバシー及び尊厳を保護することにより、論文や資料提供の場としての本誌の信頼性を維持する。

4. 投稿資格

アイソトープ・放射線にかかわる広範な研究成果の発表の場を提供するため、会員外の投稿も受け付ける。

5. 論文の種類と基準

原著：独創性がある結論の明確な論文。

総説：特定の専門分野における研究成果や知見、研究課題・技術などの背景、重要性、進捗状況、今後の発展の方向などについて関連文献、資料に基づき包括的にまとめたもの。

ノート：独創的ではあるが断片的な研究で、研究方法、操作、技術、装置の改良、新しい試みあるいは応用などを簡単に表現したもの。

技術報告：既成の装置・製品・試薬などの新しい使用経験・評価など実用価値のある内容を簡潔にまとめたもの。

速報：内容が独創的で重要な発見または結論を含み、他に優先して掲載する価値があると編集

委員会で認めたもの。詳細は後日原著として投稿することができる。

資料：研究・技術に関する参考資料および解説・調査報告など。

特集：特定の分野やテーマについて、複数の論文でその分野の動向についてまとめ、最新の知見を与えるもの。

（連載）講座：特定の分野やテーマについて、現状と将来の展望をわかりやすくまとめた論文。

解説：1つの主題について解説した論文。

ミニレビュー：いくつかの文献をレビューしながら特定の分野のトピカルなテーマに関して最近の研究動向などを紹介する小評論。

コメント：本誌に最近1年以内に掲載された論文に対する意見など。他の著者の論文に関わるコメントは、原則として論文の著者に回答を依頼する。

6. 投稿における倫理規定

- 1) 捏造、改ざん、盗用、二重投稿、二重出版、著作権侵害等の不正行為は、故意か過失かに関わらず認めない。
 - ①捏造：存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
 - ②改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
 - ③盗用：他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。
 - ④二重投稿：同一の、または類似した研究内容についての論文（投稿中、受理されたものを含む）を2以上の学術誌へ投稿すること、及び他言語に置きかえたものは「二重投稿」と見なされる。また1つの研究結果を小さく分割し、複数の論文として継続的に投稿する「サラミ法」も「二重投稿」にあたる。
- 2) 「二重投稿」と「許容される二次掲載」の差異は、新たな知見、データ、考察によって、先行する論文と比較し新規性と有用性が担保可能であるかを判断基準とする。
- 3) 学会発表は、研究途中での進捗の報告とみなされるため、抄録・要旨は先行論文とはみなされないが、それらと同一のデータ・図表のみで構成された場合は二重投稿とみなされる場合がある。

表1 原稿の長さと言旨

論文の種類	ページ数	原稿の長さ*		
		本文 (図表を含む)	英文要旨**	和文要旨**
原 著	12ページ以内	和 文：19,000字 英 文：6,600 words	60 words	200字程度
総 説	10ページ以内	和 文：16,000字 英 文：5,600 words	同上	同上
ノ ー ト	6ページ以内	和 文：9,000字 英 文：3,000 words	同上	同上
技 術 報 告	6ページ以内	和 文：9,000字 英 文：3,000 words	50 words	同上
速 報	4ページ以内	和 文：6,000字 英 文：2,100 words	同上	同上
資 料	14ページ以内	和 文：22,000字 英 文：8,100 words	同上	同上
特 集	14ページ以内	和 文：22,000字 英 文：8,100 words	同上	同上
(連載) 講座	14ページ以内	和 文：16,000字 英 文：5,600 words	同上	同上
解 説	14ページ以内	和 文：22,000字 英 文：8,100 words	同上	同上
ミニレビュー	2ページ以内	和 文：3,000字 英 文：1,000 words	同上	同上
コ メ ン ト	1ページ以内	和 文：1,600字 英 文：500 words		

* 字数はあくまで目安である。

** 要旨の字数は本文を執筆している言語を基準とし、もう一方の言語で要旨を執筆する場合はこの指定に従う必要はない。

- 4) 以下の条件を満たすものを著者とする。
 - ①研究の構想またはデザイン、データ収集、データ分析及び解析において相応の貢献があった。
 - ②論文の作成または重要な知的内容に関わる推敲に関与した。
 - ③出版原稿の最終承認を行った。
 - ④研究のあらゆる部分について、その正確性または公正性に関する疑義が適切に調査され、解決されることを保証し、研究のすべての側面に対して説明責任を負うことに同意した。
- 5) 生体・生命にかかわる実験を実施したデータが記述されている投稿原稿には、ヘルシンキ宣言および文部科学省、厚生労働省、経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 <https://www.mhlw.go.jp/content/000769923.pdf>」などの医学研究に関する指針に基づき、調査等の対象者のプライバシーを尊重し、倫理的に配慮した記述を行う。
- 6) 動物実験を含む投稿は、著者の所属機関の実験動物取扱ガイドラインに従った実験計画が承認を受けた後に実験を実施したことを明示する。
- 7) 論文投稿時に、投稿内容に関連する企業や営利を

目的とする団体にかかわる利益相反 (Conflict of Interest : COI) 状態を開示する (共著者を含む)。

- 8) 図表を転載する場合は著作権法の規定を遵守し出典を明示する。転載許諾申請は著者の責任で行う。
- 9) 査読者は、査読原稿の内容や審査結果の機密を守秘すること。

7. 著作権

- 1) 本誌に掲載された論文の著作権は、日本アイソトープ協会に帰属する。
- 2) クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス (以下CCライセンス, <https://creativecommons.jp/licenses/>) の「CC BY」を2022年2月1日より導入する。
- 3) 前項に関わらず、著者の申し出により2022年2月1日以降に掲載される論文について、その他のCCライセンスを選択することができる。
- 4) 本誌に公開されたライセンス表記のある論文は、CCライセンスの引用基準に従って自由に使用することが可能となる。CCライセンス表記のない論文の図表転載については、従来どおり、日本アイソトープ協会の許可が必要である。

種類	概要
	CCライセンス表記のある論文については、著者や日本アイソトープ協会に許可を得ることなく、著作権者のクレジットを表示すれば、誰でもその論文をダウンロード、再利用、改変利用、コピー、配布することを認める。

8. 論文の投稿

- 1) 本誌への投稿論文は未発表のものに限る。同一の内容で他誌に投稿中の論文または既に掲載された論文は本誌へ投稿できない。
- 2) 本誌への掲載後に二重投稿が判明した場合は、当該論文の取り消しを本誌において公表する。
- 3) 論文は和文又は英文とする。論文の執筆は、本「投稿規程」及び「執筆上の注意」に準拠する。
- 4) 論文は、当協会ホームページの投稿フォーム〈<https://www.jriias.or.jp/form49.html>〉から電子投稿を行う。
- 5) ORCID (Open Researcher and Contributor ID)の登録がある著者は、その識別番号を記載してもよい。
- 6) 投稿後の相応の理由なき著者の変更（追加、削除）は認められない。
- 7) 受付日は論文が当協会に到着した日とする。受理日は論文審査が終了した日とする。
- 8) 修正論文の提出が編集委員会より返送された日から6か月を超えた場合、受付は取り消される。また、著者都合により論文を取り下げる場合、その旨を著者が編集委員会まで連絡する。取り消した又は取り下げた論文が再度投稿された場合は、新規投稿論文として扱う。
- 9) 論文審査終了後、最終原稿の電子データを、編

集委員会宛に送付する。

- 10) 本誌への投稿は、すべての著者が本誌の編集方針を理解、承認し、かつ、すべての著者が投稿内容を承認し、その投稿に同意したことを意味する。
- 11) 本誌は投稿料、掲載料ともに無料である。

9. 論文審査

- 1) 投稿論文と編集委員会が企画する依頼論文は共に査読を経て採否を決定する。
- 2) 投稿論文は、剽窃チェックを含めた倫理規定を満たし審査に適合すると認められた論文に対してシングルブラインド方式の査読を実施する（編集方針参照）。
- 3) 投稿論文の著者は公正で確かな論文評価を提供できる査読者を推薦できる。推薦する査読者の氏名、所属・メールアドレスと簡潔な推薦理由を記載する。査読者の選出において著者の希望は考慮に入れるが、最終的には編集委員会で決定する。
- 4) 編集委員長は投稿論文ごとに担当編集委員を割り当て、担当編集委員は査読者を選出する。査読者は論文掲載の可否と改善すべき点の有無について意見を述べる。
- 5) 編集委員会は、一部修正により掲載の可能性がある論文に対し、必要に応じて意見をつけ、著者に修正を求めることがある。
- 6) 著者は審査結果に基づき、原稿を修正し、審査意見への回答書とともに提出する。
- 7) 原稿の採否は、審査意見並びに本誌の要件を満たしているかの判定に基づき編集委員会が決定する。なお、編集委員会は、採否決定後3か月以内の反論は1回のみ受け付けるが、最終決定後の質問・問合せ等を一切受け付けない。
- 8) 編集委員会は、受理後（論文掲載決定後）、体裁の統一などのため著者に若干の修正を求めることがある。

表2 別刷販売価格（税別）

部	頁	1-4頁	5-8頁	9-12頁	13-16頁	17-20頁	21-24頁	25-28頁
	1-50	7,590	10,120	12,650	16,445	18,975	22,770	25,300
	51-100	8,855	13,915	18,975	24,035	27,830	32,890	37,950
	101-150	11,385	17,710	24,035	30,360	36,685	43,010	49,335
	151-200	13,915	21,505	30,360	37,950	45,540	53,130	60,720
	201-250	16,445	26,565	35,420	44,275	53,130	63,250	72,105
	251-300	18,975	30,360	40,480	51,865	61,985	73,370	83,490

表紙付は5,500円（税込）、カラー印刷は1頁・1部あたり33円（税込）の別途追加費用がかかる。

10. 著者の責任

すべての著者は掲載された論文の内容の全責任を負うものとする。

11. 論文訂正等

本誌掲載後の論文の訂正、追加などは、編集委員会が認めたもののみ掲載する。

12. 校正、別刷

著者校正は、初校のみとする。校正刷のPDFファイルを受け取り後、原則日以内に校正し、電子メールで返送する。公開後、PDFデータを進呈するが、紙の別刷を希望する場合は、別に定める料金を著者が負担する（送料込み）。

13. 論文奨励賞

論文受付日において36歳未満の者が対象論文を投稿した場合に応募できる（詳細は「RADIOISOTOPES誌論文奨励賞」要綱参照）。

問合わせ先

〒113-8941 東京都文京区本駒込2丁目28番地45号

日本アイソトープ協会

RADIOISOTOPES誌 編集委員会事務局

E-mail: radioisotopes@jrias.or.jp

電話：03-5395-8035

URL: <https://www.jrias.or.jp/books/cat/radioisotopes.html>

執筆上の注意

2022年11月15日一部改定

1. 投稿原稿

原稿の書式は（文字の大きさ、フォントの種類等）は所定の「執筆テンプレート（<https://www.jrias.or.jp/books/cat/radioisotopes.html>からダウンロード）」に従う。

1) 表題・著者（1頁目）

論文のタイトル、すべての著者の氏名と所属のフルネームを記載する。著者に複数の所属がある場合、著者名の右肩にイタリック体の上付き文字1, 2, 3…を付して示す。その下に責任著者のメールアドレスを記載する。ダガー(†)は、責任著者の氏名の右肩に記述する。英文投稿の場合も和文の表題、著者名、所属、要旨等を併せて提出する。ただし、著者全員が日本語を母語としない場合については、これを適用しない。

2) 要旨（1頁目）

投稿言語で60 wordsあるいは200字以内とするが、和文と英文要旨の内容を一致させるために規定の字数を超過してもよい。英文要旨はネイティブ、あるいはそれに準ずる人のチェックを受ける必要がある。本文中で定義した記号、略語などは改めて定義する。

3) キーワード（1頁目）

論文の内容を的確に表現する5語程度の単語もしくは句を選び、小文字で表記する。英語で名詞単数形とし、原則として、略語、記号、元素記号は用いない。できるだけ限定された意味をもつ語又は句を選ぶ。略語をキーワードとして用いる場合はスペルアウトして略語が示す単語を明確にする。

例：radiotherapy, targeted alpha therapy (TAT), cobalt-60, Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident

4) その他

表題、要旨、キーワードには、宣伝に類する語句を入れてはならない。表題、キーワードは論文審査終了後の編集委員会にて修正を求めることがある。

2. 本文

1) テンプレート2頁目から記載する。最初に「はじめに」、次に「方法」、「結果」、および「考察」（英文投稿の場合は「Introduction」、「Materials and Methods」、「Results」および「Discussion」）などを適切に項目立てる。これら項目に続き、著者情報、謝辞、引用文献の順に記載する。

2) 和文原稿は文化庁の「公用文の書き表し方の基準（資料集）」により、ひらがな交じり口語体と

する。用語はJIS用語及び各学会制定の用語を用い、翻訳不能の学術語、日本語化しない固有名詞に限り原語のまま用いる。

3) 数字はアラビア数字を用いる。年号は西暦で統一する。

4) 英文原稿の場合、行末の単語にハイフンを使用せず、必ずワードラップを行う。

5) 本文の大見出し、中見出し、小見出しはpoint systemとし、1., 1・1, 1・1・1, …などと書く。

6) 単位はSI単位を使用し、記号は国際単位系で指定されているものを使用する。例えばCi, rad, remは使用せず、それぞれBq, Gy, Svを使用する。

7) 化合物の命名法はIUPACの命名規則、Chemical Abstractsの索引、あるいはRing Indexの命名法のいずれかに準ずる。また命名法のスタイルは論文内で統一する。

8) 核種の質量数は⁶⁰Co, ¹³¹Iのように元素記号の左肩につけた表記法を用いる。

9) 一般的でない略語を使用する場合は、最初に説明をつける。それぞれの初出時にスペルアウトし、直後に括弧()内で略語を示し、以下略語のみを用いる。日本語表記がある場合は、「日本語（スペルアウト；略語）」とする。

10) 引用文献は番号に片かっこをつけ、本文の右肩につける。

11) 文献でない備考、注などは、***を右肩につけ、原稿の下部に脚注をつける。

3. 図・表

1) 図、表は、原則としてそのまま画像データとして使用できるように著者が作成する。線の太さ、文字の大きさ及び図の複雑さをよく考慮する。必要があれば、図表は横長に作成してもよい。

2) 表の後に図を配置し、出現する順にアラビア数字で番号を付け、図のタイトルと説明（Figure Legends）はそれぞれの図の下に記載する。図、表の挿入箇所を原稿中に指定する。

3) 図、表のタイトルと説明は、和文で書かれた論文であっても英文で書く（和文の「資料」を除く）。

4) 本文中で図、表を示す際に、図は“Fig. XX”（ただし文頭では“Figure XX”）、表は“Table XX”と表記する。

5) 表の作成では、印刷物を画像として取り込んで貼り付けることはせず（鮮明でなくなるため）、MS-Wordファイルの「表」機能がMS-Excel等を使用して作成する。

6) 写真は図の作成・記載に準ずる。

4. 文献

- 1) 文献は登場順に従って（図および表の参照も含む）、文献に連続した番号を付し、右肩上付き文字で、句読点の前、または関連する単語の後に、右片括弧付きのアラビア数字で示す。書誌情報は原稿の最後に一括記載する。
- 2) 雑誌掲載論文、書籍、Webサイト等で公開されている文献または資料を用いる。著者が5人以上いる場合は4人目までを記載し5人目以降は日本語の場合は「他」、英語の場合“et al.”で省略することができる。ページ数は最初と最後のページをハイフンで結んで示す。ページ表記の無い雑誌論文の場合は、論文番号を記載する。

(例)[雑誌] 著者名, タイトル, 雑誌名, 巻数, ページ (西暦発行年), DOI (任意)

- 1) Yasushi Sato, Hidetake Ishizu, Takahiro Yamada, Standardization of ^{14}C by CIEMAT-NIST Method and TDCR Method, *RADIOISOTOPES*, **65**, 1–5 (2016), doi: 10.3769/radioisotopes.65.1

(例)[書籍] 著者名, 書名, ページ, 発行所, 発行地 (西暦発行年)

- 1) Carroll, J. and Lerche, I., *Sedimentary Processes: Quantification Using Radionuclides*, pp. 72–75, Elsevier Science, Oxford (2003)

(例)[Webサイト] 著者名等, 表題, URL, access年月日

- 1) 平成28年度新学術領域研究（研究領域提案型）「学術研究支援基盤形成」リソース支援プログラム：短寿命RI供給プラットフォーム, <https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~ripf/> (accessed April 1, 2021)

RADIOISOTOPES 誌 論文奨励賞規定

2022年11月15日一部改定

1. 名 称

「RADIOISOTOPES 誌 論文奨励賞」(英文表記「RADIOISOTOPES Research Promotion Award for Young Scientists」)

2. 目 的

アイソトープ・放射線に係わる研究活動が、順調に次世代に引き継がれていくことはきわめて重要なことである。人材の発掘・育成のためにも、研究活動に参加しつつある若手研究者に、その研究の推進を支援していくために、励ましともなる活動の一環として、「RADIOISOTOPES 誌」投稿論文に対し奨励賞を贈り、表彰する。

3. 対象論文

RADIOISOTOPES 誌の掲載区分のうち「原著」, 「ノート」, 「速報」に投稿し、表彰年度の前年度(4月から翌年3月)に掲載された論文。

4. 応募資格

論文の筆頭著者であり、論文受付日において36歳未満の者。ただし、本賞受賞歴がある者を除く。

5. 応募方法

投稿に際しての自薦もしくは他薦とする。論文掲載後、申請書類の提出をもって本賞に応募したものとする。

6. 選 考

受賞候補者の選考はRADIOISOTOPES編集委員会が行い、当協会会長が決定する。

7. 表 彰

表彰は「アイソトープ・放射線研究発表会」において行う。受賞者には、会長名の賞状を授与するとともに記念品を贈呈する。

8. その他

本賞の実施に関する詳細は、別に定める細則による。

問合せ先

RADIOISOTOPES 編集委員会 事務局
〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45
日本アイソトープ協会 学術課
TEL 03-5395-8035 FAX 03-5395-8053
E-mail: radioisotopes@jrias.or.jp